

別記様式第1号（第4条関係）

環の拠点創出事業準備委員会 開催結果の要旨

会議名	第5回 木津川市環の拠点創出事業準備委員会		
日時	平成25年11月21日（木） 午前10時から午前11時50分	場所	木津川市役所 第2北別館2階
委員	<p>■山崎 正史（会長）、■岡井 有佳（副会長） ■福井 保知、■川邊 隆司、■坂本 利正、■杉野 耕造、 ■辻 忠、■出栗 伸幸、■花田 啓、■藤原 久博（代理出席：矢嶋 美千代）、■吉村 由美子</p>		
出席者	<p>【オブザーバー】 京都府山城広域振興局 企画総務部 企画振興室 室長 湯瀬 敏之 【市関係部署】 山城支所 支所長 松井 功</p>		
事務局	尾崎課長、茅早主査		
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 副市長挨拶 3. 会長挨拶 4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 木津川市環の拠点創出事業に関する提言書について <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントに対する市の考え方について（資料1・2・3） (2) 提言書の提出について（資料4） 5. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 環の拠点創出事業の実施に向けた概略スケジュールについて（資料5） 6. 閉会 		
審議結果要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 <p>事務局より、開会を宣言した。</p> 2. 副市長挨拶 <p>協議に先立ち田中副市長から挨拶があった。</p> 3. 会長挨拶 <p>議事に先立ち山崎会長から挨拶があった。</p> 4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 木津川市環の拠点創出事業に関する提言書について <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントに対する市の考え方について（資料1・2・3） <p>事務局より、資料1に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。</p> 		

	<p>(2) 提言書の提出について（資料4） 事務局より、資料4に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。</p> <p>5. その他 (1) 環の拠点創出事業の実施に向けた概略スケジュールについて（資料5） 事務局より、資料5に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。</p> <p>6. 閉会</p>
審議経過要旨	<p>1. 開会 審議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 副市長挨拶 審議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 会長挨拶 審議結果要旨のとおり。</p> <p>4. 協議事項 (1) 木津川市環の拠点創出事業に関する提言書について ・パブリックコメントに対する市の考え方について 事務局より、資料2に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。 主な意見・質疑等は次のとおり。 (○…質疑・意見、→…質疑に対する返答)</p> <p>○10 頁期待される取組み内容にかかる検討内容について、「市民がおもてなしをおこなうことが望ましい」とあるが、タイトルが期待される内容であることから、「おもてなしをおこなうことが期待される」に修正してはどうか。 →修正する。</p> <p>○14・15 頁のハブ機能を有する拠点としてに掲載の写真について、観光スポットの説明が必要と考える。 ○観光スポット説明については、観光協会ホームページにも掲載していることから、活用してはどうか。 →観光協会ホームページを確認し、写真説明について加筆する。</p> <p>○7 頁拠点施設及び周辺への配慮点の詳細について、案内看板の設置が記載されている。これまでの準備委員会でも協議されたが、集落にサイクリストが訪問することにより、地域住民は交通事故等の心配が高いと考える。</p>

	<p>歩行者のすぐ横を自転車が通ることに恐怖を感じるのではと考える。このことから、サイクリストのマナー向上を訴える看板の設置を記載する必要があると考える。</p> <p>○全てのサイクリストのマナーが悪い訳ではないと考える。サイクリストに配慮し、ゆっくり走行するなどの啓発看板の設置としてはどうか。 →加筆し、修正する。</p> <p>○9 頁広報戦略において、広報誌及び案内サイン等による周知手段として、観光協会ホームページも充実していることから、啓発媒体として追記してはどうか。 →加筆する。</p> <p>○6 頁拠点施設への導入機能について、3つの視点からの導入機能を列挙しているが、本事業は地域との交流、サイクリング、健康づくりの3つの環を繋げる事業であることから、この3つの視点からの導入機能とするべきである。 →地域との交流機能による視点を追記し、充実させる。</p> <p>○本提言書は、参考資料で終わっている。「あとがき」等が必要ではと考えるがどうか。</p> <p>○提言書について、「はじめに」と記載するから「おわりに」等が必要となる。「はじめに」の文言を削除し、文章に「準備委員会にて活発な協議をし、本提言書をとりまとめた」等と記載することで良いと考える。 →修正する。</p> <p>○No.6の修正案について、「・・・海住山寺の歴史的資源を有する瓶原地区などの観光スポットが数多くあり」とあるが、地区を観光スポットとするのはおかしい。 →観光エリアに、修正する。</p> <p>○奈良県と京都府が作成した「2012年度版 奈良～京都 飛鳥～嵐山」の自転車周遊マップがある。このサイクリングマップには、府道京都八幡木津自転車導線の掲載がない。今後、関係機関などの作成するマップにこの自転車導線を掲載できるよう積極的に働きかけをおこなうことが必要と考える。</p> <p>○本マップの作成に關係した。次年度は英語版など外国語版を作成する予定であるが、2012年度版を翻訳する程度の予定である。このマップに自転車道について掲載することはできないと考える。なお、このマップは数年おきに見直しをし、更新する予定であるので、次回更新時には掲載できるよう依頼をしたい。</p>
--	---

	<p>→関係機関との連携を図り、啓発に努める。</p> <p>○11 頁観光ルートなどの整備による集客に向けてには、サイクリングコースにトイレやバイクスタンドの整備の検討が必要との記載があるが、観光スポットも整備する必要があると考える。観光スポットである椿井大塚山古墳に設置の階段に使用されている木が老朽化しており、歩行に危険である。 →文章について加筆し、修正する。なお、観光スポットの整備については、関係課に連絡する。</p> <p>(2) 提言書の提出について (資料4) 事務局より、資料4に基づき説明し、確認し、質疑応答を行った。 主な意見・質疑等は次のとおり。 (○…質疑・意見、→…質疑に対する返答)</p> <p>○「別添提言書を提出します」の文言について、重複する。「記・・・以上」とるのは、行政文章またはかしこまった印象がある。誰もがわかりやすいものとする必要があると考える。 →「記・・・以上」は削除し、わかりやすい鑑とする。</p> <p>5. その他 (1) 環の拠点創出事業の実施に向けた概略スケジュールについて 審議結果要旨のとおり。</p> <p>5. 閉会</p>
その他特記事項	傍聴者なし